

## エルサレムの御座

アシェル・イントレータ

2013年10月26日

ソロモンがエルサレムの王となった時、彼の父ダビデの王座に着きました。

1列王記 2:12 –ソロモンは父ダビデの王座に着き…。

この同じ出来事が、一言だけを替えて歴代誌にも記されています。

1 歴代誌 29:23 –ソロモンは、主の設けられた王座に着き（訳注：日本語新改訳聖書ではこのようになっていますが、原語では神さまの名前を表す「YHVHの王座」となっています）…。

歴代誌の著者はソロモンの戴冠式を描くにあたって、ダビデの王座は神の御座と同じだと解釈しました。このことは当時何世紀かの間に、神の御国についての思想が発展していったことを表しているのかも知れません。

王座とは単なるイスですが、支配者の地位を表しています。エルサレムの王座は、神の天的な支配の、地上における代表権を表しているのです。エルサレム市長、イスラエル首相、法王、国連事務総長を合わせたものを想像してみてください。

ソロモンは、12頭の獅子を両側にあしらった、豪華に装飾が施された金と象牙の王座を作りました（1列王記 10:18-20）。丁度地上のエルサレムと天のエルサレムが平行的な関係にあるように、この王座の間と天の御座は平行的な関係にあります（黙示録 4:2-4）。やがてこれら2つは1つとなるのです（ゼカリヤ 14:9、黙示録 21:2）。

## エルサレム市長

今週、ニル・バルカットは、激しい政治的攻勢にも関わらず、エルサレム市長に再選されました。バルカットはこのやりがいのある職をこなすのに、その能力をもった、最も適正な人物です。彼は今まで、エルサレムを健全で安心できる街とするための完全性と思い入れを示してきました。彼は自身のことをダビデ王の子孫で、エルサレムを再建するための使命が与えられていると考えています。

「あなたが私を刺し通した」  
ユヴァル・ヤナイ

ザカリヤ 12 章 8 節には、YHVH（神さまの御名）の御使いが、神（エロヒム）御自身と匹敵する、または同等なものとして挙げられています—「神のようになり...主の使いのようになる」。その後続く預言には、その「神的な存在」は彼自身のことを 3 度、一人称で「わたし」と呼んでいます。

始めに彼はエルサレムを攻撃する異邦人の軍勢を滅ぼすと警告しています。

「その日、わたしは、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。」 9 節

この闘いが起こると同時に、彼はエルサレム地域の住民に彼の聖霊を注ぐと約束しています。

「わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。」 10 節

3 つ目の預言には、彼自身が突き刺されたと、そしてその彼を指した人たちが主に立ち返り悔い改めると言っています。

「彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見...」 10 節

これら 3 つの預言的出来事は、1 人の方と関わっています。天の軍勢を率いてイスラエルの敵を滅ぼす方、エルサレムの住民に聖霊を注がれる方は、彼らが突き刺したその方でもあるのです。一体どのようにして、神が「突き刺される」のでしょうか。一体だれが、神として一人称で語り得るのでしょうか。あなたは、これらの文章について一致を見いだせるでしょうか。

19 番目の祝祷  
モティ・コーヘン

伝統的ユダヤ教の中の中心的祈禱は「アミダー」、または「18 の祝福」と呼ばれるものです。これらの祈禱は、イエシュア（イエス様）の時代のラビ的世界観を反映し、また 1 次的には聖書に基づいています。

しかし本当は 18 ではなく、19 なのです。何故でしょう。それは後に 1 つ加えられたからで

す。元々のセットには無かった部分で、全く祝福といえるものではなく、むしろ呪いなのです。それは異教に対するもので、それもイエシュアを信じるユダヤ人に対するものです。

2~3 百万人もの正統派ユダヤ人によって 1 日 3~5 回もこの祈りが繰返されている、ということはイエシュアの信者、特にメシアニックジューである「背教者」たちに向けて、1 千万もの呪いが毎日捧げられているということです。(このことはある意味、私たちがこのイスラエルにおいて、何故これほどまでに霊的圧迫感を感じるかということ、説明できるかも知れません。)

私たちは共同体として「あなたをのろう者を祝福し」ていきます(ルカ 6:28)。彼らは「何をしているのか自分でわからないので」とイエシュアが仰ったように(ルカ 23:34) 私たちは彼らを許します。しかし同時に私たちはこの呪いの力を、イエシュアが私たちに約束された「敵のあらゆる力に打ち勝つ権威」で打碎きます(ルカ 10:19)。

呪いは、私たちが命の書から「切り離される」ようにしていますが、迫害がどのようにひどいかに関わらず、私たちの名前が命の書に書かれていることは確信しています。「あなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい(ルカ 10:20)。何であれ、イエシュアから受けた命と愛から私たちを遠ざけることはできないことを、神さまに感謝しましょう。

ジャスター、英国に

ダン・ジャスターはアルファークースの創始者、ニッキー・ガンブルと会見のため英国へ行きます。英国における最も影響力のある福音派クリスチャンの一人です。他にもダンは、英国国教会大司教ジャスティン・ウェルビーの信仰間ディレクター、トビー・ハウース神父と会います。ガンブルとウェルビーはともにユダヤ系の血を引いています。どうぞこのイスラエルと英国国教会との、歴史的な回復のため祈って行きましょう。